

# 明日の親となる中学生を対象とした子育て理解

## 宮城県亶理町

### 活動名

亶理町子育てサポーターらびっとによる活動

### 関係する学校

亶理中学校・荒浜中学校・吉田中学校・逢隈中学校

※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）

活動区分	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
土曜日の教育活動							
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	2人	21人	16年度	有	有	無	無
放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティスクール	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

- 少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、ほとんどの親が自分の子供を産んで初めて乳幼児に触れるといった状況にあるため、中学校期に健全な父性・母性意識を培う体験が必要との理由から開始した思春期保健体験事業「明日の親となる中学生を対象とした子育て理解講座」において、保育体験に向けた幼児との関わり方の学習支援を継続して実施している。
- 平成16年度に荒浜中学校で始まり、平成23年度には吉田中学校、平成24年度には亶理中学校、平成26年度には逢隈中学校と広がっていき、現在は町内全ての中学校において学習支援を提供している。
- 学校と連携した豊かな教育活動が安定的・継続的に展開されるよう、町主催の養成講座を開催し人材発掘に努めるとともに、県主催の養成講座等への参加や定例会を開催し、サポーターの資質向上にも努めている。

### 特徴

#### 【特徴的な活動内容】

- 生涯学習課、福祉課、各中学校が主催の事業である。
- 幼児との関わり方についての学習支援を、地域の家庭教育支援活動や、サポーター自身の子育て経験を生かして行うことで、より地域の状況を踏まえた指導ができるとともに、相談できる大人が地域にいるということを生徒たちに伝えることができる。

#### 【実施に当たっての工夫】

- 生涯学習課がコーディネーターとなり福祉課と各中学校との連携を密にすることにより、各校のニーズに応えた内容を計画するとともに、プログラムの変更や改善をスムーズに行えるようにしている。
- プログラムを効果的に行うことができるよう、事前学習においては町の保健師が入る部分と子育てサポーターが入る部分の組立てなど学習の流れを吟味している。
- 子育てサポーターが幼児の好む遊びを紹介し、それを生徒も体験することで、生徒が初めて幼児と関わることに對しての不安を解消できるようにしている。
- 生涯学習課、福祉課、各中学校それぞれの反省をフィードバックし、次年度の活動に生かしている。

### 事業を実施して

- 机上の学習だけではなく、実際に体験することで、生徒たちの学習に関する興味・関心が高まり学びが深まった。
- 保育体験では、事前学習をふまえたふれあい遊びやよく工夫された手作りおもちゃを使い、生徒が幼児と生き生きとふれあう姿が見られた。また、生徒の反省からも、この活動を通して子供についての理解が深まったとの声がたくさん寄せられた。

### その他

本事業を開始して10年が経過したが、町の少子化等は更に進んでいる。生徒にとって身になる活動を提供するため、今後も学校・地域・福祉との連携を密にし、継続していきたい。



明日の親となる中学生を対象とした子育て理解講座



明日の親となる中学生を対象とした子育て理解講座